

離島航空運賃の低減を求める要請決議

当市は、沖縄本島から400km離れている地理的条件から、沖縄本島や本土へ渡る交通手段は、航空路線に限られており、当市を含む八重山圏域の住民にとっては、航空運賃が大きな経済的負担であった。沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業が適用されて以降は、多くの離島住民が利用しており、事業目的とするところの住み慣れた島で安心して暮らし続けることができる定住条件の整備に大いに寄与している。

こうしたなか、本年7月10日から石垣一那覇路線への新規航空会社の参入が決定し、八重山圏域への更なる観光誘客に期待が持てる一方で、県においては、「離島住民が当日購入可能な運賃が競争状態にあるため」として、同事業の適用保留を決定しており、利便性が低下することは明白といわざるを得ない。

八重山圏域における航空路線は、生活路線として必要不可欠な命綱ともいえる存在であり、同事業の運賃設定の基礎となった航空路線は新幹線並の運賃という考え方は、離島住民の共通認識となっており、今後ともそのような運賃設定が望まれている。

よって、県においては、当市のおかれた地理的要因及び経済的特殊事情を十分に勘案していただき、これまで実施している空港着陸料、航空機燃料税及び航空援助施設使用料等の減免支援制度の強化並びに沖縄振興特別措置法第91条に基づき、新たな制度・施策の導入等抜本的な見直しにより、離島住民の生活安定のため、更には八重山圏域の経済振興発展のため、離島航空運賃の低減が図られるよう強く要請する。

以上、決議する。

平成25年6月25日

沖縄県石垣市議会

あて先

沖縄県知事、沖縄県議会議長、地元選出沖縄県議会議員